

セラミド研究会 第1回学術集会 プログラム概要

日時:平成20年11月21日 9:30~18:00

場所:北海道大学学術交流会館 第1会議室

(懇親会)札幌アスペンホテル アスペンA

9:30~9:35 【開会挨拶】

9:35~10:00 【招待講演 L-1】

脂質メディエーターの臨床検査医学の構築～スフィンゴシン 1-リン酸を中心に～

矢富裕 (東京大学大学院医学系研究科・臨床病態検査医学 教授)

10:00~10:25 【招待講演 L-2】

皮膚におけるセラミド研究の新展開

石川准子 (花王株式会社生物科学研究所 主任研究員)

10:35~11:59 【一般講演 O-1~O-7】

活性污泥から得られた真菌のスフィンゴ糖脂質について

柘植純¹, 塩谷一沙², 平塚宙子², 〇櫛泰典²

(¹札幌大谷大学短期大学部, ²帯広畜産大学)

セレブロシド生産性酵母におけるスフィンゴ脂質特性

〇菊地絢子¹, 得字圭彦¹, 柚木恵太¹, 斎藤勝一², 田村雅彦³, 大西正男¹

(¹帯広畜産大学・食品科学, ²農研機構・北海道農研, ³日甜)

食餌性セレブロシドが消化管炎症に与える影響

〇木下幹朗¹, 山内昭法¹, 間和彦², 大西正男¹

(¹帯広畜大・食品科学, ²日本製粉・中研)

グルコシルセラミドの代替原料の探索と応用

〇高桑直也¹, 大西正男², 小田有二²

(¹農研機構・北海道農研, ²帯広畜大・食品科学)

栽培キノコ中のスフィンゴ脂質の分析と有効利用

〇福光聡¹, 丹治幹男², 木村幸史^{3,4}, 木下幹朗⁵, 間和彦¹, 豊田勝彦¹, 大西正男⁵

(¹日本製粉中研, ²オホーツク農業科学研究センター, ³NEDO, ⁴ニュテックス,

⁵帯広畜大・食品科学)

植物由来スフィンゴ脂質の消化管吸収

〇矢野紗枝子¹, 菅原達也¹, 間和彦², 都築毅³, 池田郁男³, 平田孝¹

(¹京都大学大学院農学研究科, ²日本製粉(株), ³東北大学大学院農学研究科)

米、きのこグルコシルセラミド構成成分の単離による新規 HPLC 分析・定量法の開発

○松本恵実^{1,2}, 牧岡富広², 藤野和孝^{1,2}, 中塚進一^{1,2}

(¹岐阜大学応生, ²長良サイエンス株式会社)

12:10~12:50 【ランチョンセミナー】

《食品分野でのセラミド関連脂質の定量法に関する話題》

HPLCによる植物糖脂質の定量分析と応用

菅原達也 (京都大学大学院農学研究科 准教授)

植物由来グルコシルセラミド関連試薬の開発

中塚進一 (長良サイエンス株式会社 代表取締役社長)

13:00~13:20 【会長講演 S-1】

皮膚におけるセラミドの役割とセラミド合成の分子機構に関する最近の研究

五十嵐靖之 (北海道大学大学院先端生命科学研究院 教授)

13:20~14:05 【海外招待講演 S-2】

Sphingolipid metabolites and their potential as chemopreventive and therapeutic agents.

Eva M. Schmelz (ヴァージニア工科大学 准教授)

14:10~16:34 【一般講演 O-8~O-19】

3次元培養ヒト表皮モデルを用いた角層セラミド代謝の解析手法の確立

○吉田直岐¹, 芋川玄爾¹

(¹東京工科大・応用生物学部)

イチゴ種子抽出物のマウスにおけるセラミドおよびヒアルロン酸合成酵素遺伝子発現促進作用

○下田博司¹, 田中潤司¹

(¹オリザ油化株式会社)

スフィンゴイドのコラーゲン産生促進作用

○菊池可菜子¹, 松村賢次¹, 向井克之¹

(¹ユニチカ(株)中央研究所)

桃セラミドに関する研究

○杉森大助¹, 高瀬つぎ子¹, 高桑直也²

(¹福島大学・共生システム理工学類, ²農研機構・北海道農研)

酢酸菌セラミドのアトピー性皮膚炎モデル NC/Nga マウスに対する効果

立元秀樹¹, ○小田峰裕¹, 岸幹也¹, 加賀孝之¹

(¹株式会社ミツカングループ本社中央研究所)

酢酸菌脂質の脳機能改善効果

○深見裕之¹, 立元秀樹¹, 岸幹也¹, 加賀孝之¹, 小林悟², 脇初枝², 田中康一²

(¹株式会社ミツカングループ本社中央研究所, ²東京都老人総合研究所)

経口摂取した植物由来セラブロシドが健常者皮膚に及ぼす効果

○宮下留美子^{1,2}, 柚木恵太¹, 木下幹朗¹, 間和彦², 豊田勝彦², 大西正男¹

(¹帯広畜産大・食品科学, ²日本製粉中研)

植物由来グルコシルセラミドの経口摂取による免疫賦活効果

○間和彦¹, 小野治三郎¹, 菅原達也², 木下幹朗³, 豊田勝彦¹, 大西正男³

(¹日本製粉中研, ²京都大学大学院農学研究科, ³帯広畜産大学食品科学研究部門)

マウス表皮細胞株における核内受容体 PPAR-beta によるセラミドキナーゼ(CERK)遺伝子発現の調節機構

○辻潔美¹, 光武進¹, 五十嵐靖之¹

(¹北大院・先端生命)

LacCer の膜マイクロドメインの構造と機能について

○岩淵和久^{1,2}, 岩原知博¹, 中山仁志¹, 吉崎史子¹, 柳田光昭¹, 加賀直子³, 小林俊秀⁴, 早川智広⁴, 小川秀興¹, 高森建二¹

(¹順天堂大学院・医・環境医学研究所, ²同・医療看護・感染看護,

³同・生体分子研究部門, ⁴理研・フロンティア)

リピドミクスによるコリン欠乏性脂肪肝の病態解析

○東城博雅¹, 井倉枝², 野々村しのぶ¹, 須見遼子², 板東泰彦³, 伊藤壽記²

(大阪大学医学系研究科・¹医化学, ²生体補完医学, ³バイオシス・テクノロジーズ)

スフィンゴ脂質活性化蛋白質サポシン B はコエンザイム Q10 を結合する

○山本順寛¹, 金光植¹, 堀之内了¹, 長谷川誠¹, 鈴木優¹, 佐川智史¹, 藤沢章雄¹, 加柴美里¹

(¹東京工科大学応用生物学部)

16:45~17:10 【招待講演 L-3】

セラミド代謝マシーナリーの構造と機能

伊東信 (九州大学大学院農学研究科 教授)

17:10~17:35 【招待講演 L-4】

食品の安全供給をいかにして確立するか？

~世界を揺るがせたメラミン汚染、鳥インフルエンザ問題~

志村政雄 (ジャーナリスト)

17:35~17:45 【セラミド研究会総会】

17:45~17:50 【閉会挨拶】

18:00~20:00 【懇親会】 於:札幌アスペンホテル